



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 8012

ソーデントップⅡ下塗

- 1. 一般名** 浸透性変性エポキシ樹脂下塗塗料 厚膜形
2. 規格 社内規格
3. 特徴 1) 1回塗りで厚膜が得られ、厚膜形上塗との組合せにより省工程化が可能である。
 2) 亜鉛めっき面への付着がすぐれている。
 3) 無公害特殊防錆顔料の効果により、非常にすぐれた防食性を発揮する。

4. 塗料性状

項目		内容			
容姿		2液性			
荷姿		20kgセット(主剤:18kg、硬化剤:2kg)			
色相		赤さび色、グレー、ライトグレー、白			
光沢		—			
密度 (23°C)	塗料	1.60			
	揮発分	0.86			
粘度(23°C)		125KU			
加熱残分		81%			
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C	40°C
	指触	3時間	2時間	1.5時間	1時間
	半硬化	10時間	4時間	3時間	2時間
標準膜厚		80μm			
引火点		SDS参照			
発火点		SDS参照			
爆発限界(下限~上限)		SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 使用上の注意

- 本塗料使用の際は被塗物に発錆のない事を確認する。又活膜部は入念に目粗しを行う。(4種ケレン以上)
- 被塗面の油、湿気、じんあいなどの有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 塗装間隔が長くなると密着不良となる。規定範囲内で塗り重ねを終るようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウエスにて拭いて調整してから塗装すること。
- 希釈には必ずエポオールシンナーを使用すること。
- 塗装終了後の使用具は直ちにエポオールシンナーで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

5. 塗装基準

項目		内容			
素地調整		4種ケレン以上			
調合法		主剤:90部、硬化剤:10部(重量比)			
可使時間	5°C	20°C	30°C	40°C	
	12時間	6時間	4時間	3時間	
使用シンナー		エポオールシンナー			
塗 装 法	塗装方法	刷毛塗り、ローラー塗り			
	希釈率	0~10%			
	標準使用量	0.24kg/m ²			
	標準膜厚	80μm			
塗 装 間 隔	温度	5°C	20°C	30°C	40°C
	最小	48時間	24時間	12時間	8時間
	最大	30日	30日	30日	30日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。